

令和2年3月27日14時00分  
資料配布：近畿地方整備局

## 簡易型河川監視カメラ画像のウェブ提供を4月1日より開始します

～ 近畿管内の国管理河川において225箇所の河川画像を追加配信 ～

国土交通省では、専用ウェブサイト「川の水位情報」<sup>※1</sup>において、水位情報だけでなく河川監視カメラの画像も一般向けに提供しているところです。

同サイトにおいて、令和2年4月1日より、近畿管内の国管理河川に新たに設置した「簡易型河川監視カメラ」<sup>※2</sup>の画像提供を開始いたします。

これにより、既存の河川監視カメラ531箇所に加えて、新たに225箇所の「簡易型河川監視カメラ」が追加されることになり、よりたくさんの地点の河川画像を見ることが可能となります。

身近な河川の状況をご確認いただき、的確な避難行動の判断にご活用下さい。

※1 川の水位情報：<https://k.river.go.jp>

※2 簡易型河川監視カメラ：機能を限定した低コストカメラ（詳細別紙）

- 河川状況をリアルタイムに提供する河川監視カメラは、洪水時に住民が的確に避難行動を起こすための重要なツールのひとつになっています。

そこで、河川監視カメラをさらに増やすことを目的として、国土交通省の「革新的河川技術プロジェクト」において、必要最小限の機能に限定し、設置が容易で低コストなカメラ「簡易型河川監視カメラ」が開発されました。

- 令和元年度から近畿管内の国管理河川において、「簡易型河川監視カメラ」の整備を進め、設置が完了した225箇所について、令和2年4月1日より河川画像の提供を開始します。

- なお、今後も「簡易型河川監視カメラ」の整備を進め、令和2年出水期までには、さらに25箇所増設するとともに、令和2年度末までにはさらに11箇所増設する予定です。これにより、既存の河川監視カメラ（531箇所）と合わせて、令和2年度中には近畿管内の国管理河川で、約800箇所の河川画像が閲覧できるようになります。

【配信イメージ】



<取扱い> \_\_\_\_\_

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター

センター長 井川 貴史 水災害対策専門官 細川 晋

TEL: (代表)06-6942-1141 (直通)06-6944-8853 FAX:06-6944-8854

# 簡易型河川監視カメラの概要

- 電源・通信ケーブルの確保不要で設置が容易なカメラ。月明かり程度の明るさでも静止画の撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを縮減。
- 専用ウェブサイトの「川の水位情報」で、一般向けに提供。
- リアリティのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

## 【特徴】

### 屋外に容易に設置

- ・無線式のため通信ケーブル不要
- ・太陽電池の場合は、電源引込みケーブル不要

### 機能を限定しコストを低減

- ・ズームや首振り機能は削除
- ・機器本体価格は、30万円/台程度

### インターネットを経由して画像を収集

- ・水位計のデータと併せて一般に提供

簡易型河川監視カメラ設置箇所数(令和2年3月31日現在)

水系	箇所数	水系	箇所数
北川	11	加古川	17
九頭竜川	2	揖保川	51
由良川	39	円山川	28
淀川	26	紀の川	27
大和川	22	新宮川	2
合計		225	

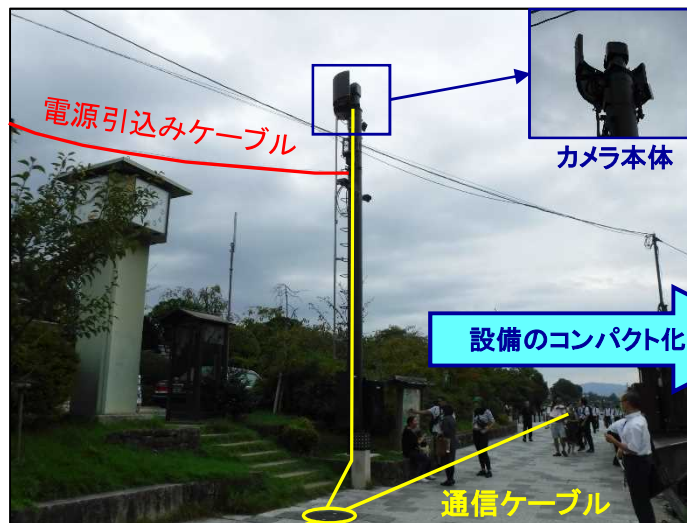
## 【配信イメージ】



「川の水位情報」  
<https://k.river.go.jp>



(従来の河川監視カメラ)



(簡易型河川監視カメラ)

